

令和2年度第4回甲賀市介護保険運営協議会次第

日時:令和2年11月6日(金)
午後2時~3時30分
場所:あいこうか市民ホール 展示室

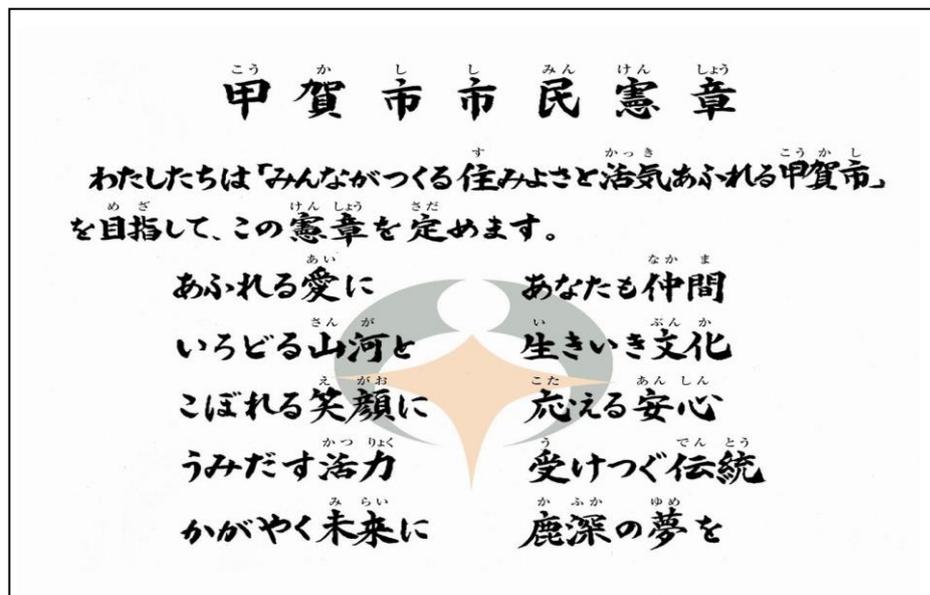
1. 開会

・市民憲章唱和

2. 議事

- 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について
 - ・ケアマネジャーアンケートの結果について
 - ・事業計画(案)について

3. その他



**甲賀市介護保険事業計画等策定のための
ケアマネジャーアンケート調査
結果報告書**

**令和2年10月
甲 賀 市**

目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	回収結果	1
6	報告書の留意点・見方	1
II	調査結果	2
1.	事業所アンケート調査	2
(1)	事業所の運営状況について	2
2.	ケアマネジャーアンケート調査	4
(1)	ケアマネジャーについて	4
(2)	要支援者のサービス利用について	5
(3)	要介護者のサービス利用について	9
(4)	介護保険サービスについて	12
(5)	認知症の方について	13
(6)	地域密着型サービスについて	14
(7)	虐待について	15
(8)	関係機関・関係者との連携について	16
(9)	意見・要望について	18
III	資料（調査票）	19

I 調査概要

1 調査目的

甲賀市介護保険被保険者のケアマネジメントを担当しているケアマネジャーの人を対象に、介護保険に対する意見を伺い、本計画の策定に際しての基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2 調査対象

市内居宅介護支援事業所

3 調査方法

郵送による配布・回収

4 調査期間

令和2年9月4日～令和2年9月23日

5 回収結果

	配布数	回収数	回収率
事業所アンケート調査	40件	33件	82.5%
ケアマネジャーアンケート調査	93件	86件	92.5%

6 報告書の留意点・見方

- ・回答は各質問の該当者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

II 調査結果

1. 事業所アンケート調査

(1) 事業所の運営状況について

問 1	事業所の利用者の要介護度はどのような内訳ですか。	人数を記入
-----	--------------------------	-------

事業所に日常生活圏域ごとの要介護度利用者について聞くと、甲賀市全体と全ての生活圏域で「要介護1」が25.8%で最も高く、次いで「要介護2」が22.7%、「要介護3」が14.0%となっています。

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
44人	245人	286人	673人	594人	366人	237人	151人	17人	2,613人
1.7%	9.4%	10.9%	25.8%	22.7%	14.0%	9.1%	5.8%	0.7%	100.0%

※事業対象者とは、介護保険の認定を受けなくても、基本チェックリストにより生活機能の低下がみられると判定されることで、総合事業サービスを利用することができる人のこと。

問 2	問1で記入した事業所の利用者について、日常生活圏域ごとの内訳を教えてください。	人数を記入
-----	---	-------

事業所に日常生活圏域ごとの利用者について聞くと、「甲南町」が20.5%で最も高く、次いで「信楽町」が18.8%、「水口町1」（貴生川・柏木・伴谷地区）が17.9%となっています。

①水口町1（貴生川・柏木・伴谷地区）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
0人	21人	48人	129人	106人	71人	50人	32人	10人	467人
0.0%	4.5%	10.3%	27.6%	22.7%	15.2%	10.7%	6.9%	2.1%	100.0%

②水口町2（水口・綾野・岩上地区）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
2人	39人	38人	104人	103人	62人	41人	30人	0人	419人
0.5%	9.3%	9.1%	24.8%	24.6%	14.8%	9.8%	7.2%	0.0%	100.0%

③土山町

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
8人	39人	35人	81人	72人	29人	32人	15人	0人	311人
2.6%	12.5%	11.3%	26.0%	23.2%	9.3%	10.3%	4.8%	0.0%	100.0%

④甲賀町

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
9人	44人	58人	93人	88人	50人	24人	22人	0人	388人
2.3%	11.3%	14.9%	24.0%	22.7%	12.9%	6.2%	5.7%	0.0%	100.0%

⑤甲南町

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
6人	52人	62人	150人	113人	75人	50人	21人	7人	536人
1.1%	9.7%	11.6%	28.0%	21.1%	14.0%	9.3%	3.9%	1.3%	100.0%

⑥信楽町

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
19人	50人	45人	116人	112人	79人	40人	31人	0人	492人
3.9%	10.2%	9.1%	23.6%	22.8%	16.1%	8.1%	6.3%	0.0%	100.0%

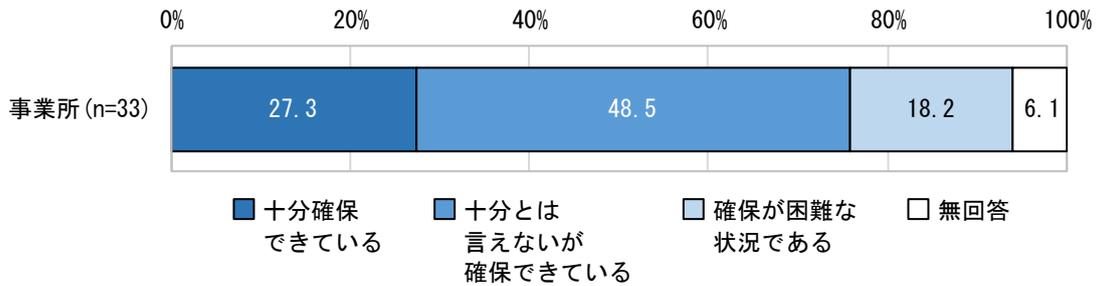
日常生活圏域ごとの利用者でみると、「甲南町」が20.5%で最も高く、次いで「信楽町」が18.8%、「水口町1」（貴生川・柏木・伴谷地区）が17.9%と続いています。

日常生活圏域	利用者	構成比
水口町1（貴生川・柏木・伴谷地区）	467人	17.9%
水口町2（水口・綾野・岩上地区）	419人	16.0%
土山町	311人	11.9%
甲賀町	388人	14.8%
甲南町	536人	20.5%
信楽町	492人	18.8%
合計	2,613人	100.0%

問3	ケアマネジャーの人材確保の状況について、教えてください。	○は1つ
-----------	------------------------------	------

事業所にケアマネジャーの人材確保の状況について聞くと、「十分とは言えないが確保できている」が48.5%で最も高く、次いで「十分確保できている」が27.3%、「確保が困難な状況である」が18.2%となっています。

また、現在、事業所の約76%が『確保できている』（「十分確保できている」と「十分とは言えないが確保できている」の合計）と回答していますが、確保が困難な事業所も出てきています。



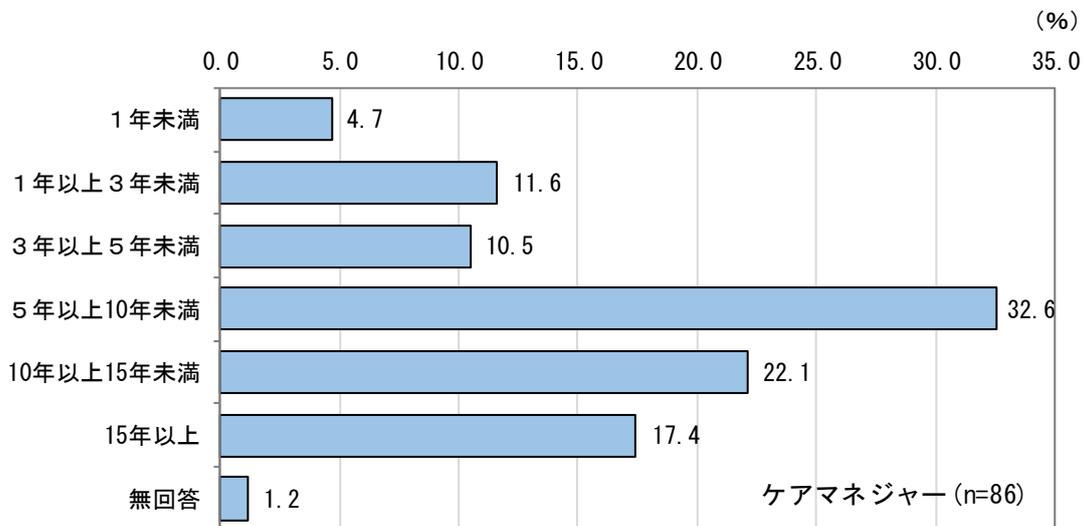
2. ケアマネジャーアンケート調査

(1) ケアマネジャーについて

問1	ケアマネジャーとしてのあなたの経験年数を教えてください。	○は1つ
-----------	------------------------------	------

ケアマネジャーに経験年数について聞くと、「5年以上10年未満」が32.6%で最も高く、次いで「10年以上15年未満」が22.1%、「15年以上」が17.4%となっています。

また、ケアマネジャーの約72%が、「5年以上」（「5年以上10年未満」、「10年以上15年未満」と「15年以上」）であると回答しており、経験豊富なケアマネジャーが多い反面、経験年数の短いケアマネジャーの数が少なくなっています。



(2) 要支援者のサービス利用について

問2	あなたが担当している要支援の方で、介護予防訪問介護・介護予防通所介護を利用している方は何人いますか。	人数を記入
-----------	--	-------

ケアマネジャーに介護予防訪問介護・介護予防通所介護の利用者について聞くと、「要支援2」が『介護予防訪問介護』（現行相当とA型の合計）で65.1%、また『介護予防通所介護』（現行相当とA型の合計）で46.0%と最も高くなっています。

また、サービス別の構成比では、「要支援2」が「介護予防訪問介護」（現行相当）で69.8%、「介護予防訪問介護」（A型）で57.6%、「介護予防通所介護」（現行相当）で65.2%と最も高く、また「要支援1」が「予防通所介護」（A型）で50.3%と最も高くなっています。

①介護予防訪問介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防訪問介護（現行相当）	4人	12人	37人	0人	53人
	7.5%	22.6%	69.8%	0.0%	100.0%
介護予防訪問介護（A型）	2人	12人	19人	0人	33人
	6.1%	36.4%	57.6%	0.0%	100.0%
合計	6人	24人	56人	0人	86人
	7.0%	27.9%	65.1%	0.0%	100.0%

②介護予防通所介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防通所介護（現行相当）	8人	23人	58人	0人	89人
	9.0%	25.8%	65.2%	0.0%	100.0%
介護予防通所介護（A型）	23人	82人	58人	0人	163人
	14.1%	50.3%	35.6%	0.0%	100.0%
合計	31人	105人	116人	0人	252人
	12.3%	41.7%	46.0%	0.0%	100.0%

③介護予防訪問介護・介護予防通所介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防訪問介護	37人	129人	172人	0人	338人
介護予防通所介護	10.9%	38.2%	50.9%	0.0%	100.0%

サービス別の利用者でみると、「介護予防通所介護」（A型）が 48.2%で最も高く、次いで「介護予防通所介護」（現行相当）が 26.3%、「介護予防訪問介護」（現行相当）が 15.7%と続いています。

	利用者	構成比
介護予防訪問介護（現行相当）	53人	15.7%
介護予防訪問介護（A型）	33人	9.8%
介護予防通所介護（現行相当）	89人	26.3%
介護予防通所介護（A型）	163人	48.2%
合計	338人	100.0%

問3	問2であげた利用者のうち、環境等条件が整えば、一部または全部の介護予防訪問介護・介護予防通所介護サービスをインフォーマルサービスへ変更することが可能と思われる方は何人いますか。	人数を記入
-----------	--	-------

ケアマネジャーにインフォーマルサービスへ変更可能と思われる利用者について聞くと、「要支援2」が「介護予防訪問」（現行相当とA型の合計）で 47.1%、また「要支援1」が「介護予防通所介護」（現行相当とA型の合計）で 54.1%と最も高くなっています。

また、サービス別の構成比では、「要支援1」が「介護予防訪問介護」（現行相当）で 45.5%、「介護予防通所介護」（A型）で 58.2%と最も高く、また「要支援2」が「介護予防訪問介護」（A型）で 83.3%、「介護予防通所介護」（現行相当）で 88.3%と最も高くなっています。

①介護予防訪問介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防訪問介護（現行相当）	3人	5人	3人	0人	11人
	27.3%	45.5%	27.3%	0.0%	100.0%
介護予防訪問介護（A型）	0人	1人	5人	0人	6人
	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
合計	3人	6人	8人	0人	17人
	17.6%	35.3%	47.1%	0.0%	100.0%

②介護予防通所介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防通所介護（現行相当）	0人	1人	5人	0人	6人
	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%
介護予防通所介護（A型）	8人	32人	15人	0人	55人
	14.5%	58.2%	27.3%	0.0%	100.0%
合計	8人	33人	20人	0人	61人
	13.1%	54.1%	32.8%	0.0%	100.0%

③介護予防訪問介護・介護予防通所介護

	事業対象者	要支援1	要支援2	不明	合計
介護予防訪問介護	11人	39人	28人	0人	78人
介護予防通所介護	14.1%	50.0%	35.9%	0.0%	100.0%

サービス別の利用者でみると、「介護予防通所介護」（A型）が70.5%で最も高く、次いで「介護予防訪問介護」（現行相当）が14.1%、「介護予防訪問介護」（A型）と「介護予防通所介護」（現行相当）がそれぞれ7.7%と続いています。

	利用者	構成比
介護予防訪問介護（現行相当）	11人	14.1%
介護予防訪問介護（A型）	6人	7.7%
介護予防通所介護（現行相当）	6人	7.7%
介護予防通所介護（A型）	55人	70.5%
合計	78人	100.0%

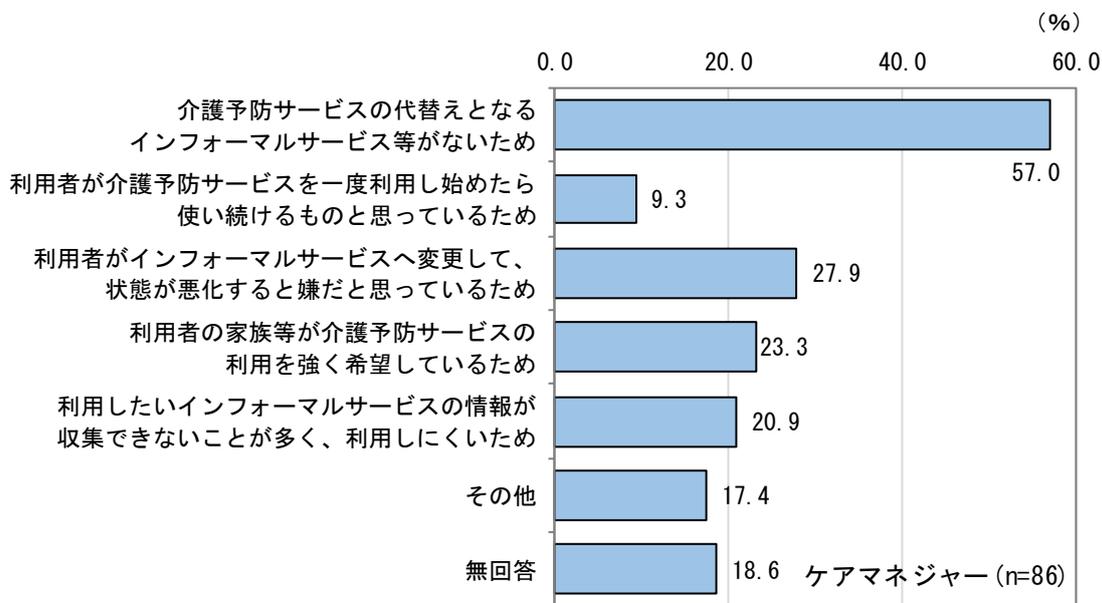
介護予防訪問介護・介護予防通所介護の利用者数のうち、インフォーマルサービスへ変更可能と思われる利用者数について、甲賀市全体で23.1%となっています。

	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
介護予防訪問介護・介護予防通所介護の利用者数	37人	129人	172人	338人
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
インフォーマルサービスへ変更可能と思われる利用者数	11人	39人	28人	78人
	29.7%	30.2%	16.3%	23.1%

※インフォーマルサービスとは、インフォーマルケアともいい、自治体や専門機関など、フォーマル（正式）な制度に基づき提供される支援ではなく、家族や友人、地域住民、ボランティアなどによる、制度に基づかない非公式な支援のこと。

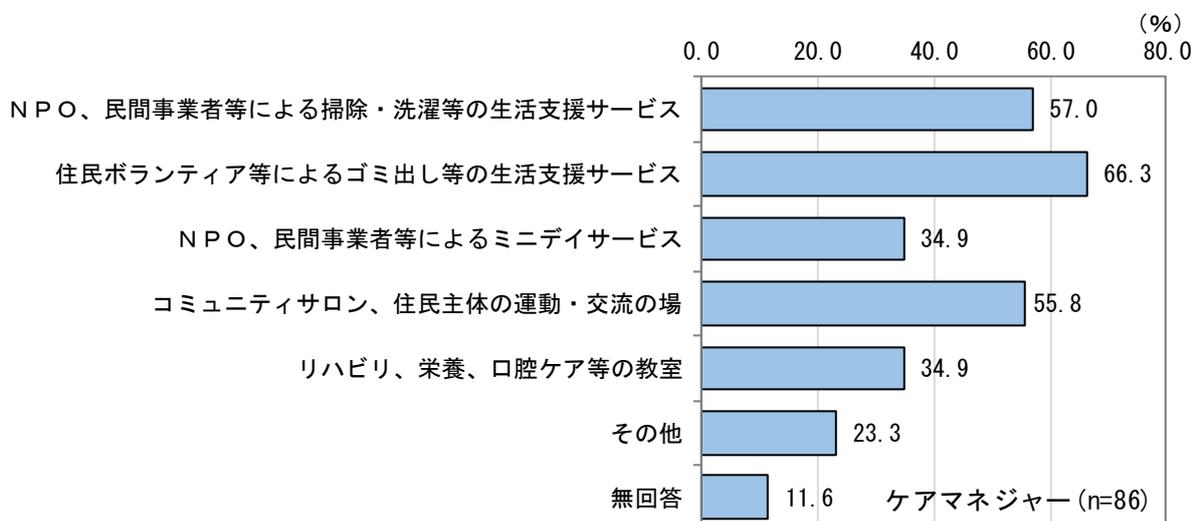
問4	問3であげた利用者のうち、インフォーマルサービスへ変更できない理由があるとすれば、何だと思えますか。	3つまで○
-----------	--	-------

ケアマネジャーにインフォーマルサービスに変更できない理由について聞くと、「介護予防サービスの代替となるインフォーマルサービス等がないため」が57.0%で最も高く、次いで「利用者がインフォーマルサービスへ変更して、状態が悪化すると嫌だと思っているため」が27.9%、「利用者の家族等が介護予防サービスの利用を強く希望しているため」が23.3%となっています。



問5	介護予防サービス以外にどのようなインフォーマルサービスが必要だと思えますか。	いくつでも○
-----------	--	--------

ケアマネジャーにインフォーマルサービスに変更できない理由について聞くと、「介護予防サービスの代替となるインフォーマルサービス等がないため」が57.0%で最も高く、次いで「利用者がインフォーマルサービスへ変更して、状態が悪化すると嫌だと思っているため」が27.9%、「利用者の家族等が介護予防サービスの利用を強く希望しているため」が23.3%となっています。



(3) 要介護者のサービス利用について

問6-1	要介護の方のうち、特別養護老人ホームへの入所を申し込んでいる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。また申込は特にどなたの希望か、その内訳をご記入ください。	人数を記入
------	---	-------

ケアマネジャーに特別養護老人ホームへの入所申込者について聞くと、「要介護3」が39.5%で最も高く、次いで「要介護4」が29.9%、「要介護5」が15.6%となっています。

①特別養護老人ホームへの入所申込者

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
5人	15人	58人	44人	23人	2人	147人
3.4%	10.2%	39.5%	29.9%	15.6%	1.4%	100.0%

②入所申込者の内訳（本人が入所を希望）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
1人	1人	4人	4人	1人	0人	11人
9.1%	9.1%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0%	100.0%

③入所申込者の内訳（家族が入所を希望）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
4人	12人	48人	38人	19人	2人	123人
3.3%	9.8%	39.0%	30.9%	15.4%	1.6%	100.0%

④入所申込者の内訳（その他）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
0人	2人	6人	2人	3人	0人	13人
0.0%	15.4%	46.2%	15.4%	23.1%	0.0%	100.0%

特別養護老人ホームへの入所申込者の内訳でみると、「家族が入所を希望」が83.7%、「本人が入所を希望」が7.5%となっています。

	利用者	構成比
特別養護老人ホームへの入所申込者	147人	100.0%
本人が入所を希望	11人	7.5%
家族が入所を希望	123人	83.7%
その他	13人	8.8%

問 6-2	問 6-1 の入所申込者のうち、十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。	人数を記入
--------------	---	-------

ケアマネジャーに特別養護老人ホームへの入所申込者のうち、十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる人について聞くと、「要介護 3」が 47.0%で最も高く、次いで「要介護 4」が 21.2%、「要介護 5」が 15.2%となっています。

①入所申込者のうち在宅生活が可能の人

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明	合計
3 人	8 人	31 人	14 人	10 人	0 人	66 人
4.5%	12.1%	47.0%	21.2%	15.2%	0.0%	100.0%

②入所申込者の内訳（本人が入所を希望）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明	合計
1 人	2 人	3 人	1 人	0 人	0 人	7 人
14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%

③入所申込者の内訳（家族が入所を希望）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明	合計
2 人	6 人	27 人	13 人	9 人	0 人	57 人
3.5%	10.5%	47.4%	22.8%	15.8%	0.0%	100.0%

④入所申込者の内訳（その他）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明	合計
0 人	0 人	1 人	0 人	1 人	0 人	2 人
0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%

入所申込者のうち在宅生活が可能なお人の内訳でみると、「家族が入所を希望」が 84.6%、「本人が入所を希望」が 10.6%となっています。

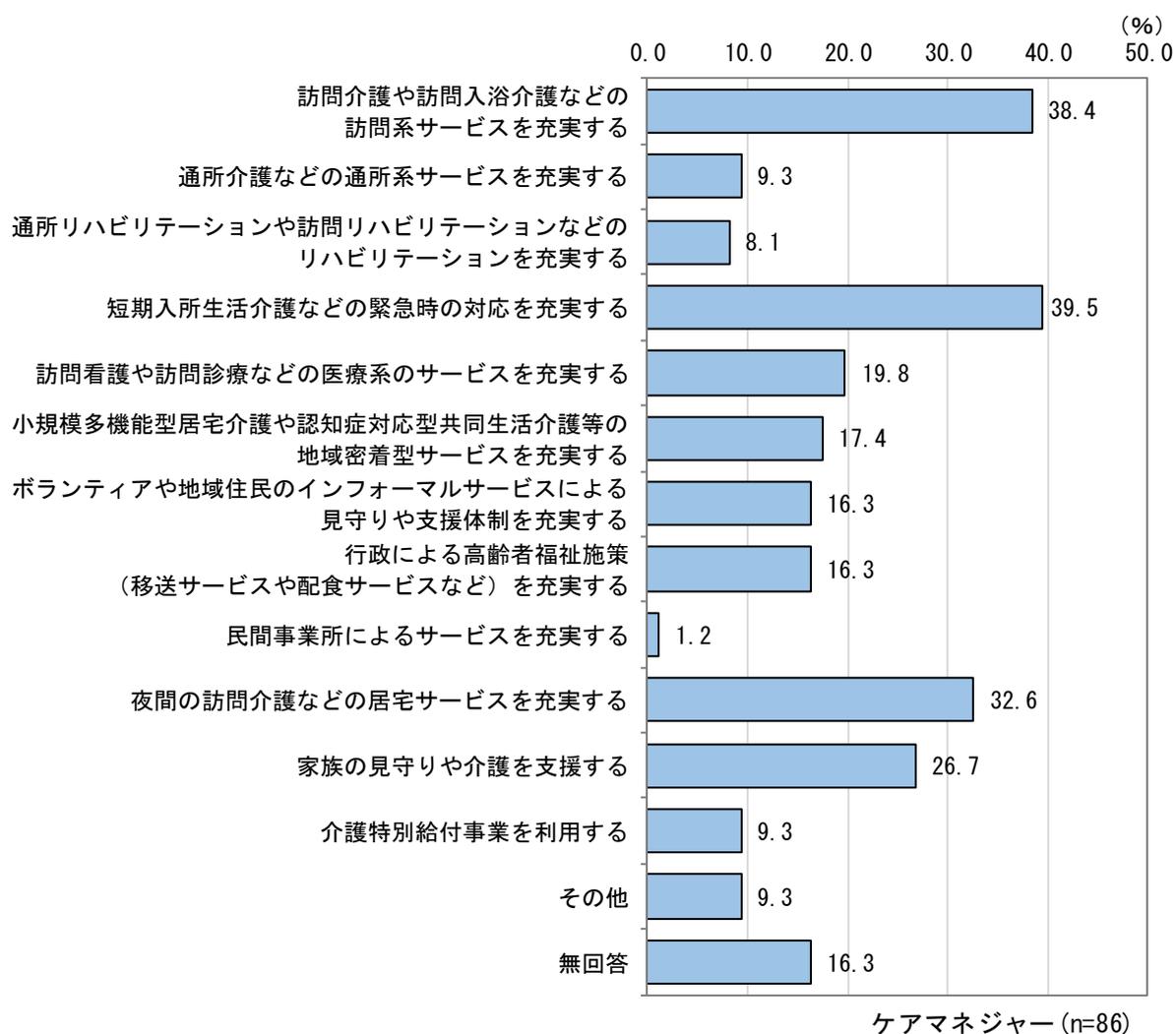
	利用者	構成比
入所申込者のうち在宅生活が可能なお人	66 人	100.0%
本人が入所を希望	7 人	10.6%
家族が入所を希望	57 人	84.6%
その他	2 人	3.0%

特別養護老人ホームへの入所申込者のうち、在宅ケアがあれば在宅生活が可能だと思う入所申込者について、甲賀市全体では44.9%となっています。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
特別養護老人ホームへの入所申込者数	5人 100.0%	15人 100.0%	58人 100.0%	44人 100.0%	23人 100.0%	2人 100.0%	147人 100.0%
在宅ケアがあれば在宅生活が可能だと思う入所申込者	3人 60.0%	8人 53.3%	31人 53.4%	14人 31.8%	10人 43.5%	0人 0.0%	66人 44.9%

問6-3	在宅生活が可能と思われる場合、どのような在宅ケアが必要だと思いますか。	3つまで○
-------------	-------------------------------------	-------

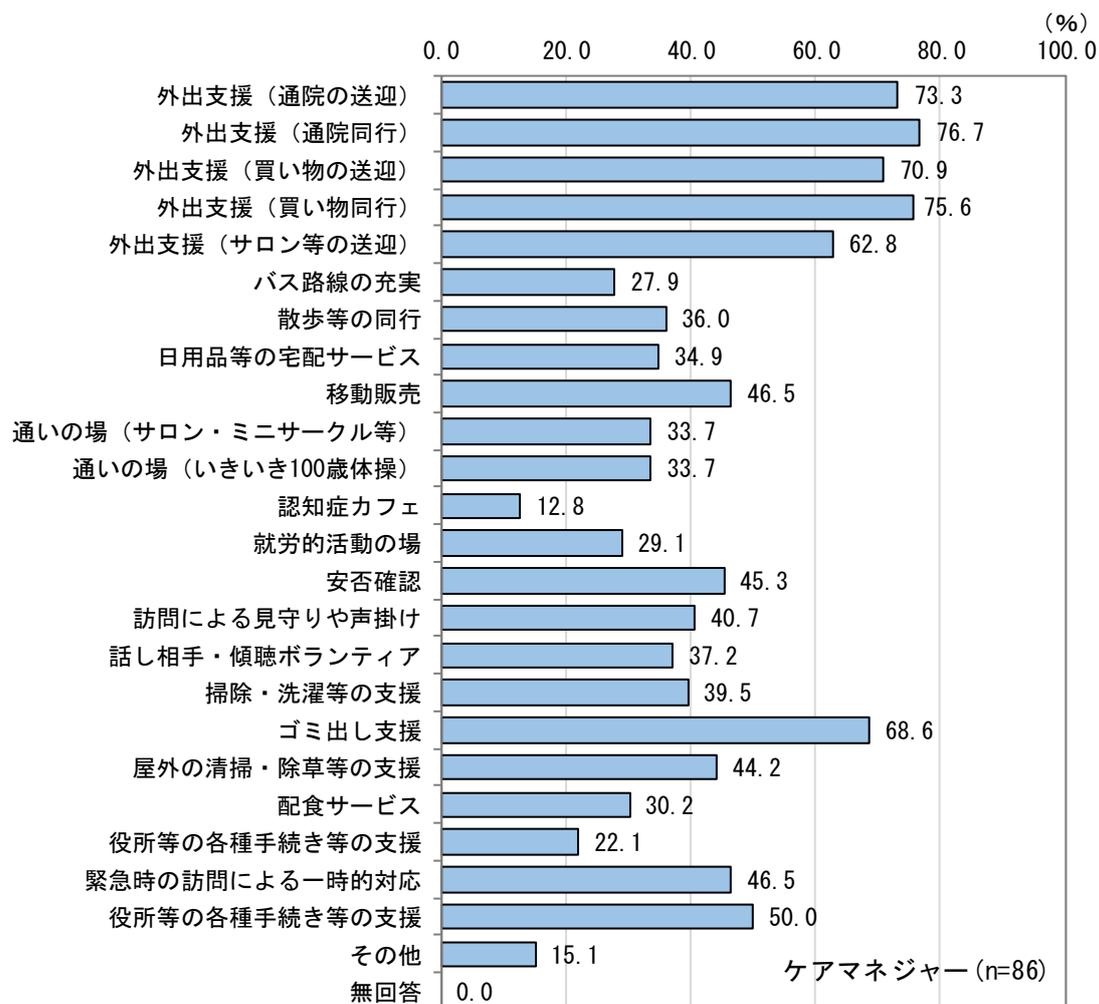
ケアマネジャーに在宅生活が可能と思われる場合に必要な在宅ケアについて聞くと、「短期入所生活介護などの緊急時の対応を充実する」が39.5%で最も高く、次いで「訪問介護や訪問入浴介護などの訪問系サービスを充実する」が38.4%、「夜間の訪問介護などの居宅サービスを充実する」が32.6%となっています。



(4) 介護保険サービスについて

問7	介護保険の給付以外に、どんな資源・サービスがあれば利用者（事業対象者・要支援者・要介護者）の日常生活の自立支援につながると思いますか。	いくつでも○
----	---	--------

ケアマネジャーに在宅生活が可能だと思われる場合の必要な在宅ケアについて聞くと、「外出支援（通院同行）」が76.7%で最も高く、次いで「外出支援（買い物同行）」が75.6%、「外出支援（通院の送迎）」が73.3%となっています。



(5) 認知症の方について

問8-1	担当している利用者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度がⅡ以上（障害高齢者の日常生活自立度Bランク以上の方はのぞいてください）の方は、何人いますか。	人数を記入
------	--	-------

ケアマネジャーに日常生活自立度Ⅱ以上（日常生活自立度Bランク以上の障害高齢者は除く）の認知症高齢者について聞くと、「要介護1」が36.1%で最も高く、次いで「要介護2」が30.7%、「要介護3」が18.5%となっています。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
14人	8人	368人	313人	188人	78人	35人	14人	1,018人
1.4%	0.8%	36.1%	30.7%	18.5%	7.7%	3.4%	1.4%	100.0%

※認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。

※障害高齢者の日常生活自立度B：屋内での生活は何らかの介護を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。

問8-2	問8-1の認知症の利用者のうち、徘徊などのため見守りが必要な人は何人いますか。	人数を記入
------	---	-------

ケアマネジャーに認知症高齢者のうち、徘徊などのため見守りが必要な人について聞くと、「要介護2」が33.3%で最も高く、次いで「要介護1」が30.6%、「要介護3」が22.8%となっています。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
1人	0人	55人	60人	41人	17人	4人	2人	180人
0.6%	0.0%	30.6%	33.3%	22.8%	9.4%	2.2%	1.1%	100.0%

日常生活自立度Ⅱ以上の認知症高齢者のうち、徘徊などのため見守りが必要な人について、甲賀市全体では17.7%となっています。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
日常生活自立度Ⅱ 以上の認知症高齢者	14人	8人	368人	313人	188人	78人	35人	14人	1,018人
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
徘徊などのため 見守りが必要な人	1人	0人	55人	60人	41人	17人	4人	2人	180人
	7.1%	0.0%	14.9%	19.2%	21.8%	21.8%	11.4%	14.3%	17.7%

問 8-3	問 8-2 の徘徊などの対応のため、何かサービスを利用していますか。	自由記載
--------------	------------------------------------	------

ケアマネジャーに徘徊などの対応のために利用しているサービスについて聞くと、「デイサービス」が 10 件で最も多く、次いで「ショートステイサービス」が 8 件、「徘徊高齢者事前登録事業」が 8 件、「通所介護」が 3 件、「徘徊高齢者みまもり事業」が 2 件などとなっています。

(6) 地域密着型サービスについて

問 9	担当している利用者のうち、現在利用していないが、できれば下記のような地域密着サービスを利用したほうが良いと思われる方は何人いますか。	人数を記入
------------	--	-------

ケアマネジャーに地域密着型サービスを利用した方が良いと思う利用者について聞くと、「水口町 1」（貴生川・柏木・伴谷地区）が「小規模多機能型居宅介護」で 20.9%、「夜間対応型訪問介護」で 27.3%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で 28.6%と、3つのサービスそれぞれで最も高くなっています。次いで「信楽町」が「認知症対応型通所」で 32.1%、「認知症対応型共同生活介護」で 22.2%と 2つのサービスそれぞれで最も高く、「水口町 2」（水口・綾野・岩上地区）が「看護小規模多機能型居宅介護」で 29.4%と最も高くなっています。

① 認知症対応型通所介護

水口町 1	水口町 2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
8 人	7 人	7 人	7 人	9 人	18 人	56 人
14.3%	12.5%	12.5%	12.5%	16.1%	32.1%	100.0%

② 小規模多機能型居宅介護

水口町 1	水口町 2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
14 人	13 人	8 人	12 人	9 人	11 人	67 人
20.9%	19.4%	11.9%	17.9%	13.4%	16.4%	100.0%

③ 認知症対応型共同生活介護

水口町 1	水口町 2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
6 人	8 人	6 人	6 人	9 人	10 人	45 人
13.3%	17.8%	13.3%	13.3%	20.0%	22.2%	100.0%

④ 看護小規模多機能型居宅介護

水口町 1	水口町 2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
4 人	10 人	2 人	3 人	9 人	6 人	34 人
11.8%	29.4%	5.9%	8.8%	26.5%	17.6%	100.0%

⑤夜間対応型訪問介護

水口町1	水口町2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
6人	3人	4人	4人	3人	2人	22人
27.3%	13.6%	18.2%	18.2%	13.6%	9.1%	100.0%

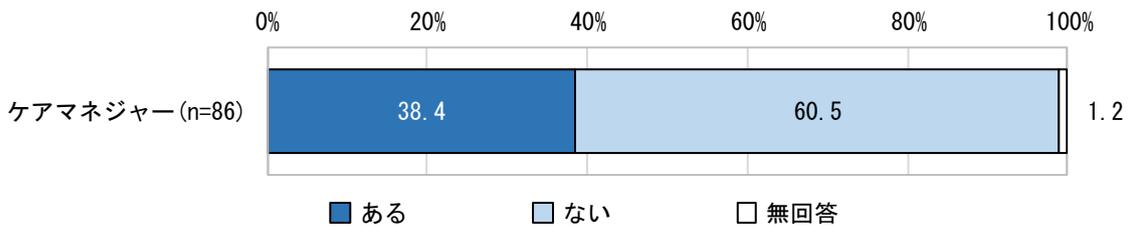
⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護

水口町1	水口町2	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	合計
4人	3人	3人	3人	1人	0人	14人
28.6%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%	0.0%	100.0%

(7) 虐待について

問 10-1	利用者のうち、虐待を受けていると思われる人がありましたか。	○は1つ
--------	-------------------------------	------

ケアマネジャーに虐待を受けていると思われる利用者について聞くと、「ない」が60.5%、「ある」が38.4%となっています。



問 10-2	それは誰から、どんな虐待ですか。また、虐待について地域包括支援センターに通報しましたか。	自由記載
--------	--	------

ケアマネジャーに虐待に対する地域包括支援センターへの通報状況について聞くと、通報ありの場合は、「息子・娘・子・孫から」が15件、「夫から」が6件、「妻から」が4件、「その他」が10件となっており、通報なしの場合は、「息子から」が3件、「夫から」が2件、「その他」が1件となっています。

また、虐待の内容については、身体的虐待、経済的虐待、心理的虐待、ネグレクトなどとなっています。

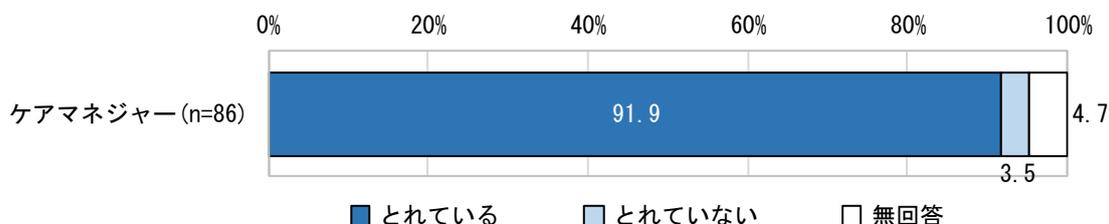
問 10-3	虐待について地域包括支援センターに通報していない場合、何かその他の対応を行いましたか。	自由記載
--------	---	------

ケアマネジャーに地域包括支援センターに通報していない場合の対応方法について聞くと、「息子さんに認知症への理解をお願いし、老健への入所を決められたため」「サービスを調整し介護負担を軽減した。サービス事業者との情報共有と連携を行い、様子を観察中であるため」「夫には認知症に対する理解がないが、同居家族がおられ、介護の仕事もされている方が、夫に対して妻の現状や今後の状態を説明したことで、暴言等が無くなっている状況となったため」などとなっています。

(8) 関係機関・関係者との連携について

問 11-1	これからは医療と福祉の連携が不可欠と考えられています、あなたは医療との連携がおおむねとれていると思いますか。	○は1つ
--------	--	------

ケアマネジャーに医療との連携がとれているかについて聞くと、「とれている」が 91.9%、「とれていない」が 3.5%となっています。



問 11-2	具体的にどのような連携を行っていますか。(連携している内容、方法等)	自由記載
--------	------------------------------------	------

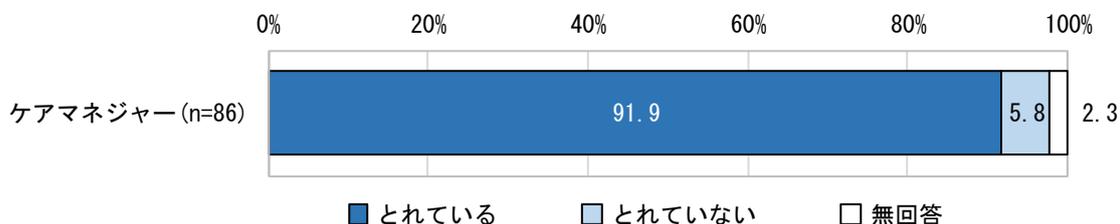
ケアマネジャーに連携の具体的な内容について聞くと、「地域連携室へ電話、面会、カンファレンス、入退院時情報を渡す、連携情報票の受け取り、訪問看護ステーション、リハビリ事業所との電話、文書のやりとり」が 41 件で最も多く、次いで「ケアマネタイムを活用し、医師から情報提供、面談、電話相談等」が 33 件、「病院の受診同行、立会い」が 11 件などとなっています。

問 11-3	連携が取れていないことがある場合、どのような内容ですか。またその要因なんだと思いますか。	自由記載
--------	--	------

ケアマネジャーに医療と連携が取れていない具体的な内容とその要因について聞くと、「医師が忙しいため(またはそのイメージがあるため)アポイントや連携が上手く取れない、開業医の場合は協力を窓口で断られる、大きな病院の場合は夜間や土日祝日など出勤されていない日に連携できない、医師からの連絡が遅い(無いこともある)」が 7 件で最も多く、次いで「コロナウイルスのため、面会や訪問が出来ないまたは制限される」が 4 件、「地域連携室からの情報が来ない、カルテのみの情報で実際の状況と違う、入院中の状態変化(入院、手術の情報など)が連絡不十分」が 3 件、「病院から、日程調整無しに退院の直前に連絡がきて退院になった」が 2 件などとなっています。

問 12-1	地域包括支援センターとの連携はおおむねとれていると思いますか。	○は1つ
--------	---------------------------------	------

ケアマネジャーに地域包括支援センターとの連携は取れているかについて聞くと、「とれている」が91.9%、「とれていない」が5.8%となっています。



問 12-2	具体的にどのような連携を行っていますか。(連携している内容、方法等)	自由記載
--------	------------------------------------	------

ケアマネジャーに地域包括支援センターとの連携の具体的な内容について聞くと、「虐待、困難ケース、ケアマネジャー以外の内容が含まれる時、その他困り事の相談、助言、情報共有、経過報告など電話、直接面談、同行訪問にて連携している」が72件で最も多く、次いで「運営推進会議、地域ケア会議などの出席を依頼している」が6件、「要支援利用者の情報共有、プラン確認など」が4件などとなっています。

問 12-3	連携が取れていないことがある場合、どのような内容ですか。またその要因は何だと思えますか。	自由記載
--------	--	------

ケアマネジャーに地域包括支援センターと連携が取れていない具体的な内容とその要因について聞くと、「委託、引継ぎの際、あまり情報共有がない場合がある、日頃の情報が不足している」が2件、「お互いの仕事量の多さにより、連携が取れてない、相談する時間がない」が2件、「相談して良いものかと迷う時にそのまま様子を見てしまう（所内で相談して対応した）、要支援で委託を受けている方の相談はしやすいが、要介護の方の場合はハードルが高く感じるなど、包括が忙しそうなので困り事を伝えきれていない」が2件、「マンパワー不足」が2件などとなっています。

(9) 意見・要望について

問 13	甲賀市の介護保険制度・高齢者福祉について、ご意見・ご要望があれば、お聞かせください。また、新型コロナウイルス感染症に関する困りごとや要望等もあれば、お聞かせください。	自由記載
------	---	------

ケアマネジャーに甲賀市の介護保険・高齢者福祉についての意見・要望について聞いた主な結果は以下のとおりです。

- ・インターネットでの申請及び手続きができるようにしてほしい
- ・住宅改修に係る申請の手続きが細かすぎるため、改善してほしい
- ・情報開示を早くしてほしい
- ・本人や家族の声が反映されたサービスも必要
- ・各支所でも主治医の意見書が取得できるようにしてほしい
- ・ケアマネジャーを含め、広く介護分野における人材育成が必要
- ・甲賀市独自のすべての施策が1つになった冊子がほしい
- ・高齢者世帯や独居の方が地域で暮らし続けるには、介護保険制度ではまかないきれない部分が多く、インフォーマルサービスの充実と地域での支え合いが必要
- ・外国人の方は、市から届く書類が読めない方もいるので、英語だけでも作成してほしい
- ・要支援の人にも排泄用品等の援助がほしい

また、新型コロナウイルス感染症に関する困り事や要望等についての主な結果は以下のとおりです。

- ・コロナの感染予防できるように全力を注いでほしい
- ・デイや訪問介護が閉鎖された場合のサービス調整を心配している
- ・信楽町内に訪問介護事業所が不足しており、特に朝8時～9時は希望通りに利用できず、困っている
- ・正確な情報が必要なのに、コロナに対して情報が少ない
- ・ケアマネジャーとしてどう動くか事故の予防ができるか、もっと早く具体的に情報を示してほしい
- ・コロナの対応やサービス調整など基本的なルールや指導がないため、ケアマネジャーに任されてしまうので困っている
- ・コロナ感染を心配され、サービス利用を控えて閉じこもりになっている方がいる
- ・必要なサービスが受けられず、家族の負担も大きくなっている
- ・特老からの連絡と保健所からの連絡が違う
- ・人権にかかわる発言を医療や介護職へ発せられており、ウイルスより人の方が恐怖である
- ・自分が感染している可能性も考えられる中、自宅訪問に不安がある
- ・地域行事や交流の場が減ることで、残念に思っておられる利用者が多い
- ・コロナの事もあり、申請の代理を行うことも多々あるが、印鑑制度を廃止してほしい
- ・コロナの影響で、退院が近づいてもご本人と面接できない、直接意向を伺うこともできない、退院カンファレンスがあっても本人欠席で困っている

III 資料(調査票)

ケアマネジャー・アンケート

甲賀市介護保険事業計画等策定のためのケアマネジャー・アンケート

令和2年9月

各位

甲賀市 健康福祉部 長寿福祉課

平素は、市政にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、本市ではこの度、介護保険制度の円滑な運営に向けて、平成29年度に策定しました「甲賀市第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（平成30年度～令和2年度）」の見直しを行うことになりました。

そのため、現在、甲賀市介護保険被保険者のケアマネジメントを担当いただいているケアマネジャーの方々を対象に、介護保険に対するご意見をお伺いし、「甲賀市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の策定に際しての基礎資料として活用したいと考えております。

みなさまには大変ご多忙中のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記入上のご注意

1. この調査については、貴事業所において甲賀市介護保険被保険者のケアマネジメントを担当いただいているケアマネジャーの方がご記入くださるようお願い申し上げます。2ページは事業所用ですので、各事業所で1部ご記入をお願いします。3～8ページはケアマネジャー用ですので、ケアマネジャーごとにご記入をお願いします。
2. お答えは、質問に沿って、当てはまる番号に○をつけるか、数値や言葉でご記入ください。結果は統計的に処理しますので、ケアマネジャーの方個人にご迷惑が及ぶことはありません。なお、本アンケート結果を目的以外に使用することはありません。
3. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

甲賀市 健康福祉部 長寿福祉課 電話 0748-69-2165（直通）

ご記入された調査票を、9月23日（水）までにお送りください。

ケアマネジャー・アンケート調査票

- この調査は、令和2年8月1日現在でお答えください。

事業所におたずねします

貴事業所名をお書きください： _____

問1 事業所の利用者の要介護度はどのような内訳ですか。それぞれ人数をご記入ください。

事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人	人

問2 日常生活圏域ごとの内訳がわかれば、ご記入ください。

日常生活圏域	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
水口町1 (貴生川・柏木・ 伴谷地区)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
水口町2 (水口・綾野・ 岩上地区)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
土山町	人	人	人	人	人	人	人	人	人
甲賀町	人	人	人	人	人	人	人	人	人
甲南町	人	人	人	人	人	人	人	人	人
信楽町	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問3 ケアマネジャーの人材確保の状況について、当てはまるものに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 十分確保できている | 2. 十分とは言えないが確保できている |
| 3. 確保が困難な状況である | |

ケアマネジャー・アンケート

問5 介護予防サービス以外にどのようなインフォーマルサービスが必要だと思いますか。当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. NPO, 民間事業者等による掃除・洗濯等の生活支援サービス	
2. 住民ボランティア等によるゴミ出し等の生活支援サービス	
3. NPO, 民間事業者等によるミニデイサービス	
4. コミュニティサロン、住民主体の運動・交流の場	
5. リハビリ、栄養、口腔ケア等の教室	
6. その他 ()	

要介護の方のサービス利用についておたずねします。

問6-1 要介護の方のうち、特別養護老人ホームへの入所を申し込んでいる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。また申込は特にどなたの希望か、その内訳をご記入ください。

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
特別養護老人ホームへの入所申込者		人	人	人	人	人	人
内訳	本人が入所を希望	人	人	人	人	人	人
	家族が入所を希望	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人

問6-2 上記の入所申込者のうち、十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
入所申込者のうち在宅生活が可能な人		人	人	人	人	人	人
内訳	本人が入所を希望	人	人	人	人	人	人
	家族が入所を希望	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人

問6-3 在宅生活が可能と思われる場合、どのような在宅ケアが必要だと思いますか。次の中から、優先度が高いと思われるもの3つに○をつけてください。

1. 訪問介護や訪問入浴介護などの訪問系サービスを充実する
2. 通所介護などの通所系サービスを充実する
3. 通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションなどのリハビリテーションを充実する
4. 短期入所生活介護などの緊急時の対応を充実する
5. 訪問看護や訪問診療などの医療系のサービスを充実する
6. 小規模多機能型居宅介護や認知症対応型共同生活介護等の地域密着型サービスを充実する
7. ボランティアや地域住民のインフォーマルサービスによる見守りや支援体制を充実する
8. 行政による高齢者福祉施策（移送サービスや配食サービスなど）を充実する
9. 民間事業所によるサービスを充実する
10. 夜間の訪問介護などの居宅サービスを充実する
11. 家族の見守りや介護を支援する
12. 介護特別給付事業を利用する
13. その他（）

介護サービス全般についておたずねします。

問7 介護保険の給付以外に、どんな資源・サービスがあれば利用者（事業対象者・要支援者・要介護者）の日常生活の自立支援につながると感じますか。次の中から、当てはまるものいくつかでも○をつけてください。また、具体的な資源・サービスがあれば、お書きください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 外出支援（通院の送迎） | 2. 外出支援（通院同行） |
| 3. 外出支援（買い物の送迎） | 4. 外出支援（買い物同行） |
| 5. 外出支援（サロン等の送迎） | 6. バス路線の充実 |
| 7. 散歩等の同行 | 8. 日用品等の宅配サービス |
| 9. 移動販売 | 10. 通いの場（サロン・ミニサークル等） |
| 11. 通いの場（いきいき100歳体操） | 12. 認知症カフェ |
| 13. 就労的活動の場 | 14. 安否確認 |
| 15. 訪問による見守りや声掛け | 16. 話し相手・傾聴ボランティア |
| 17. 掃除・洗濯等の支援 | 18. ゴミ出し支援 |
| 19. 屋外の清掃・除草等の支援 | 20. 配食サービス |
| 21. ボランティアによる調理補助 | 22. 緊急時の訪問による一時的対応 |
| 23. 役所等の各種手続き等の支援 | |
| 24. その他 | |
- （ 具体的に：）

認知症の方についておたずねします。

問8-1 担当している利用者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度がⅡ以上（障害高齢者の日常生活自立度Bランク以上の方はのぞいてください）の方は、何人いますか。

※ 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。

※ 障害高齢者の日常生活自立度B：屋内での生活は何らかの介護を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人

問8-2 上記の認知症の利用者のうち、徘徊などのため見守りが必要な人は何人いますか。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人

問8-3 上記の徘徊などの対応のため、何かサービスを利用していますか。

--

地域密着型サービスなどについておたずねします。

問9 担当している利用者のうち、現在利用していないが、できれば下記のような地域密着サービスを利用したほうが良いと思われる方は何人いますか。日常生活圏域ごとにご記入ください。

	水口町1 (貴生川・柏木・伴谷地区)	水口町2 (水口・綾野・岩上地区)	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町
1. 認知症対応型通所介護	人	人	人	人	人	人
2. 小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人	人
3. 認知症対応型共同生活介護	人	人	人	人	人	人
4. 看護小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人	人
5. 夜間対応型訪問介護	人	人	人	人	人	人
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	人	人	人	人	人

虐待についておたずねします

問10-1 利用者のうち、虐待を受けていると思われる人がありましたか。

1. ある⇒ 問10-2へ 2. ない

問10-2 それは誰から、どんな虐待ですか。また、虐待について地域包括支援センターに通報しましたか。

だれから	どんな虐待を受けている	通報の有無
		1. 有 2. 無
		1. 有 2. 無

問10-3 虐待について地域包括支援センターに通報していない場合、何かその他の対応を行いましたか。

関係機関・関係者との連携についておたずねします

問11-1 これからは医療と福祉の連携が不可欠と考えられていますが、あなたは医療との連携がおおむねとれていると思いますか。

1. とれている 2. とれていない

問11-2 具体的にどのような連携を行っていますか。(連携している内容、方法等)

問11-3 連携が取れていないことがある場合、どのような内容ですか。またその要因なんだと思えますか。

